



## 平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年1月21日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社  
 (URL <http://www.zeria.co.jp/>)

(コード番号：4559 東証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 伊部幸顕  
 責任者役職・氏名 広報部長 森山茂

(TEL:(03)-3661-1039)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容)減価償却の方法、法人税等の計上基準等  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	42,634	3.2	1,977	-	1,634	-	789	-
16年3月期第3四半期	41,316	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	54,375		2,047		2,404		1,553	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	17.97	-
16年3月期第3四半期	-	-
(参考)16年3月期	33.93	-

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

2. 売上高以外の項目につきましては、当第3四半期より開示を行っているため、前年第3四半期実績及び対前年第3四半期増減率は記載しておりません。

## [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期までの我国経済は今年度上半期の堅調な景気回復の趨勢を受け推移しているものの、一部、台風の影響等から個人消費の伸びに鈍化が生じており、また一方、好調だった企業動向も機械受注の減少等が見られ、生産、輸出面でも弱含みの様相を呈してきております。

そうした中で当社の経営成績の状況を見てみますと、医療用医薬品部門におきましては亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は堅調に推移しましたが、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノン」、胃炎・胃潰瘍治療剤「マーズレンS顆粒・ES錠」は苦戦いたしました。

一方、ヘルスケア部門においては、ゼリアフランチャイズストア加盟店や薬系量販店を中心に、セルフプリベンションを指向した製品供給により市場構築を強力に推進してまいりました。主力製品群である「コンドロイチン群」は引き続き大幅に伸張を続けており、「ヘパリーゼ群」、「ウィズワン群」も堅調に推移しております。また、ダイエタリーサプリメントのOEM製品も好調に推移いたしました。

また、医療用医薬品の新薬パイプラインにおいては、新たな自社創薬の過敏性腸症候群治療剤 Z-501 の開発スタートや、炎症性腸疾患治療剤 Z-206 のステージアップなど、より一層の充実と臨床開発の進捗により、研究開発費は前年対比で36%増と大幅に増大いたしました。

以上のような活動の結果、当第3四半期までの売上高は426億34百万円、利益につきましては経常利益16億34百万円、四半期(当期)純利益7億89百万円となりました。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨表示)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	57,403	27,412	47.8	641.75
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	48,304	29,330	60.7	654.74

(百万円未満切捨表示)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	598	7,924	7,938	2,752
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	1,339	816	1,272	2,178

## [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前連結会計年度末と比較して、90億98百万円増加しましたが、株主資本は19億17百万円減少したため、株主資本比率は12.9%減少いたしました。

増減の主なものは、流動資産では、現金及び預金が5億74百万円、受取手形及び売掛金が8億99百万円増加しております。固定資産では投資有価証券が19億67百万円、長期前払費用が48億25百万円増加しております。

流動負債では支払手形及び買掛金が7億89百万円、短期借入金が108億33百万円増加しております。また、資本の部は、自己株式の増加22億25百万円等により、19億17百万円減少いたしました。

## (キャッシュ・フロー計算書)

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは5億98百万円増加しております。これは、税金等調整前四半期純利益が16億21百万円となり、売上債権の増加額9億13百万円、仕入債務の増加額7億89百万円、法人税等の支払額11億2百万円等によるものであります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは79億24百万円減少しております。これは、長期前払費用に係る支出50億円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出12億38百万円、投資有価証券の取得による支出17億23百万円等によるものであります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは79億38百万円増加しております。これは、短期借入金の純増額108億65百万円及び自己株式の取得による支出22億29百万円、配当金の支払額6億92百万円等によるものであります。

## 3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(百万円未満切捨表示)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	57,000	2,100	1,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 22円92銭

## [業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成16年11月19日発表の数値を訂正しておりません。

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨表示)

科 目	期 別		(参考)前連結会計年度	
	当第3四半期末		(平成16年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 資 産 の 部 )		%		%
流 動 資 産				
1. 現 金 及 び 預 金	2,884		2,309	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	17,991		17,092	
3. た な 卸 資 産	3,664		3,695	
4. 繰 延 税 金 資 産	887		805	
5. そ の 他	1,891		1,640	
貸 倒 引 当 金	69		99	
流 動 資 産 合 計	27,249	47.5	25,444	52.7
固 定 資 産				
1. 有 形 固 定 資 産				
建 物 及 び 構 築 物	5,072		5,210	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	806		777	
土 地	9,338		9,338	
そ の 他	303		284	
有 形 固 定 資 産 合 計	15,521	27.0	15,611	32.3
2. 無 形 固 定 資 産	980	1.7	208	0.4
3. 投 資 そ の 他 の 資 産				
投 資 有 価 証 券	6,104		4,137	
長 期 前 払 費 用	4,940		114	
繰 延 税 金 資 産	1,109		1,243	
そ の 他	1,655		1,689	
貸 倒 引 当 金	158		144	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	13,651	23.8	7,040	14.6
固 定 資 産 合 計	30,153	52.5	22,859	47.3
資 産 合 計	57,403	100.0	48,304	100.0
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債				
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	7,305		6,515	
2. 短 期 借 入 金	14,264		3,431	
3. 賞 与 引 当 金	687		977	
4. 返 品 調 整 引 当 金	253		265	
5. 売 上 割 戻 引 当 金	431		410	
6. そ の 他	3,191		3,416	
流 動 負 債 合 計	26,135	45.5	15,017	31.1
固 定 負 債				
1. 長 期 借 入 金	1,245		1,217	
2. 退 職 給 付 引 当 金	2,332		2,456	
3. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	205		212	
4. そ の 他	72		70	
固 定 負 債 合 計	3,855	6.7	3,957	8.2
負 債 合 計	29,990	52.2	18,974	39.3
( 少 数 株 主 持 分 )	-	-	-	-
( 資 本 の 部 )				
資 本 金	6,593	11.5	6,593	13.6
資 本 剰 余 金	5,397	9.4	5,397	11.2
利 益 剰 余 金	20,121	35.1	20,040	41.5
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,172	2.0	945	2.0
自 己 株 式	5,872	10.2	3,647	7.6
資 本 合 計	27,412	47.8	29,330	60.7
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	57,403	100.0	48,304	100.0

2. (要約)四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨表示)

科 目	当第3四半期 自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日		(参考) 前連結会計年度 自 平成15年 4月 1日 至 平成16年 3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	42,634	100.0	54,375	100.0
売 上 原 価	20,471	48.0	26,960	49.6
返品調整引当金戻入額	11	0.0	152	0.3
売 上 総 利 益	22,174	52.0	27,567	50.7
販売費及び一般管理費	20,197	47.4	25,519	46.9
営 業 利 益	1,977	4.6	2,047	3.8
営 業 外 収 益	119	0.3	451	0.8
1. 受取利息及び配当金	91		34	
2. そ の 他	27		416	
営 業 外 費 用	462	1.1	94	0.2
1. 支 払 利 息	76		66	
2. そ の 他	386		27	
経 常 利 益	1,634	3.8	2,404	4.4
特 別 利 益	6	0.0	668	1.2
1. 貸倒引当金戻入額	4		18	
2. 販売権行使許諾金	-		650	
3. 投資有価証券売却益	2		-	
特 別 損 失	20	0.0	100	0.1
1. 固定資産売却・除却損	7		14	
2. 退職加算金	12		85	
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,621	3.8	2,972	5.5
法 人 税 等	831	1.9	1,418	2.6
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	789	1.9	1,553	2.9

### 3. 四半期連結剰余金計算書

(百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当第3四半期 自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日		(参考) 前連結会計年度 自 平成15年 4月 1日 至 平成16年 3月31日	
	金 額		金 額	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		5,397		5,397
資本剰余金四半期末(期末)残高		5,397		5,397
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		20,040		19,226
利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	789	789	1,553	1,553
利益剰余金減少高				
配 当 金	708	708	739	739
利益剰余金四半期末(期末)残高		20,121		20,040

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨表示)

科 目	期 別	(参考)	
		当第3四半期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年12月31日〕	前連結会計年度 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕
		金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 税金等調整前第1四半期純損失( )又は当期純利益		1,621	2,972
2. 減 価 償 却 費		715	684
3. 売上債権の増減額(増加は )		913	2,035
4. たな卸資産の減少額		31	1,081
5. 仕入債務の増減額(減少は )		789	1,435
6. そ の 他		559	1,362
小 計		1,686	3,975
7. 法人税等の支払額		1,102	2,603
8. そ の 他		15	32
営業活動によるキャッシュ・フロー		598	1,339
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 有形固定資産の取得による支出		377	556
2. 無形固定資産の取得による支出		860	85
4. 投資有価証券の取得による支出		1,723	944
4. 長期前払費用に係る支出		5,000	118
5. そ の 他		36	888
投資活動によるキャッシュ・フロー		7,924	816
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 短期借入金純増加額		10,865	1,870
2. 長期借入れによる収入		76	34
3. 長期借入金の返済による支出		80	160
4. 自己株式の取得による支出		2,229	2,279
5. 配当金の支払額		692	737
財務活動によるキャッシュ・フロー		7,938	1,272
現金及び現金同等物に係る換算差額		37	0
現金及び現金同等物の増減額(減少は )		574	749
現金及び現金同等物の期首残高		2,178	2,928
現金及び現金同等物の期末残高		2,752	2,178

## 5. 四半期連結主要製商品売上高

(百万円未満切捨表示)

期別 品名	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	対前年同期比	前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
1. 医薬品事業	42,486	41,191	3.1%	54,210
(1) 医療用医薬品部門	25,670	26,365	2.6%	34,487
マーズレンS - 顆粒・ES錠	6,700	7,052	5.0%	9,244
アシノンカプセル75・150	6,491	7,192	9.7%	9,462
プロマック顆粒15%	3,108	3,107	0.0%	4,176
ペオン錠80	1,297	1,344	3.5%	1,757
アビテン	742	784	5.4%	1,007
ランデル錠10・20・40	726	729	0.4%	934
新レシカルボン坐剤	685	693	1.2%	917
アンサー20注	390	404	3.5%	515
その他	5,527	5,056	9.3%	6,472
(2) ヘルスケア部門	16,816	14,825	13.4%	19,722
コンドロイチン群	2,571	1,831	40.4%	2,524
ウィズワン群	1,125	1,119	0.6%	1,514
ヘパリーゼ群	1,081	1,036	4.4%	1,339
ハイゼリーB	679	717	5.4%	940
新健康習慣群	460	378	21.6%	473
その他	10,897	9,741	11.9%	12,931
2. その他の事業	147	125	18.1%	164
合計	42,634	41,316	3.2%	54,375

## 6. 新薬パイプラインの状況

### 国内開発状況

(2005年1月21日 現在)

#### 1) 消化器系分野

	開発番号	開発形態	適応症	作用機序 及び 特長	備考
申請準備中	Z-205	自社(導入)	大腸内視鏡前 腸管洗浄剤	腸管洗浄剤唯一の錠剤タイプ	
フェーズ 準備中	Z-206	自社(導入)	炎症性腸疾患	pH依存型放出調節剤	
フェーズ	Z-338	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズ	Z-103/ プロマック顆粒	自社(導入)	味覚障害	亜鉛補充剤	効能追加
フェーズ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	

#### 2) その他の分野

	開発番号	開発形態	適応症	作用機序 及び 特長	備考
申請中	ZC-102/ ペオン錠	共同開発 (日本ケミファ)	急性上気道炎	シクロオキシゲナーゼ阻害	効能追加
フェーズ 追加試験	Z-100/ アンサー注	自社	子宮頸癌	・免疫調節 ・白血球増加作用 ・好中球機能亢進作用	効能追加
フェーズ 終了	Z-335	自社	閉塞性動脈硬化症	トロンボキサンA2受容体拮作用	

### 海外開発状況

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序 及び 特長	備考
フェーズ (欧州)	Z-338	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズ (北米)		共同開発 (山之内製薬)			
フェーズ 終了 (欧州)	Z-360	自社	消化性潰瘍	ガストリン受容体拮抗作用	
フェーズ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	